

## 歴史に現れない岡部長章の大殊勲

山岡 邦章

岸和田藩の最期の藩主を御存知ですか？岡部長職という方で、エール大学に留学し、文部技官から最後は文部大臣にまでなられました。その八男、長章氏のお話を一つ。

この頃には岡部家は旧華族ではあるものの、長章氏は八男坊であり、宮内省に務められ俸給をいただく立場でした。しかし、天皇陛下、皇后陛下の侍従として日々両陛下と接する立場であった訳です。信頼も厚く「岡部、岡部」とよく呼ばれたことが回顧録に見えます。

この岡部長章氏が、記録で知られる歴代の岡部家当主が及ばない大殊勲をたてるお話です。この事実はあまり知られていないので、みなさんに知っていただきたく、今回取り上げてみました。

昭和 20 年 8 月 14 日、終戦前日の皇居宮城内のことです。この時期の日本は大混乱の中にいました。御前会議では天皇の御聖断により終戦の勅が発せられていましたが、それを受け入れられない近衛の叛乱軍が宮城に押し入ったりして、すでに国家の統治機能も麻痺しかけていた頃です。

いかにして、終戦の詔勅を国民に知らせるか。陛下の考えは、これ以上国民を犠牲にしたいくないという判断で、翌 15 日臨時放送を行うことになりました。しかし天皇陛下のお声を直接マイクで放送するのは当時としては憚られる行為なので、レコード盤が造られて玉音放送として流されたのは周知のとおりです。

実はその玉音が記録されたレコード盤は 2 枚あったのです。1 枚は録音状態が悪く聞こえにくいものでした。

叛乱軍は前夜、その放送を阻止するためにそのレコードを探して、夜勤であった上司の侍従を襲撃しましたが、侍従はそんなもの知るか！と啖呵をきったため顔面を腫れあがるまで殴られたそうです。実はレコードは侍従職部屋の普通の戸棚に隠していたので難を逃れていました。

しかし、近くを叛乱軍の将校がうろうろしているので、そのレコードを持ち出すことができず、侍従たちが困り果てていたところへ、岡部侍従の発案で、悪い方を袱紗に包んでお盆に入れて、おとりの侍従が持ち出し、良い方を岡部侍従の弁当入れのザック袋に入れて後で持ち出すことにしたのです。叛乱軍に見つかっても、悪い方をさっさと渡せば殺されはしまいという、剛胆な作戦で持ち出し、岡部が NHK へ無事届けることができたのです。

歴史に「もし」はありませんが、もし、この岡部の発案がなければ、もし、本来の玉音レコードが叛乱軍将校の手に落ちていれば・・・と考えるとさらに恐ろしいことが起こっていたでしょ

う。

戦争が長引けば、もっと被害が拡大し、岸和田も無事ではなかったのではないのでしょうか。岡部の機転が日本を救ったと言えます。

この物語、後に「日本のいちばん長い日」として映画化されたり、終戦特番で番組になったりしていますが、実は岸和田の殿様の子が関わっていたとはなかなか知られていない事実です。

(やまおか くにあき：郷土文化室)

## 身近でおもしろい「巣」の世界へようこそ～特別展「なるほど！巣・ワールド」

風間 美穂

2018年10月27日（土曜日）から2019年1月14日（月曜日）まで、きしわだ自然資料館では特別展「なるほど！巣・ワールド」を開催しています。会場の1階ホールでは、鳥の巣をはじめとする多様な生物の巣を100点以上展示しています。今回は、展示のみどころを紹介します。

岸和田市内の各小中学校・公立幼稚園・保育所には、特別展開始前に、招待券を送付しています。ぜひご利用ください。

### 1. 小海途銀次郎コレクション（たくさんの鳥の巣）

今回の展示の目玉は、小海途銀次郎氏が収集された日本有数の鳥の巣コレクションです(図1)。小海途氏は、日本で繁殖する大部分の鳥の巣を収集されていますが、今回はそのなかでも、岸和田市内で見られる鳥の巣を展示しています。

今回、鳥の巣そのものと一緒に見ていただきたいのは、小海途さんがこれらの巣を採集したときに起こった出来事について書いた文章です。それぞれの巣の横にパネルで設置しています。例として、カイツブリのエピソードをあげておきます。



図1. 小海途銀次郎コレクションの展示

### カイツブリの巣

1965年に大阪府のある野池でカイツブリの巣を採集した。当時そのあたりは広い水田地帯で人家から離れ、地道の農道が通っているだけであった。池の縁にはヨシが茂りカイツブリは水面に浮いているヨシの枯葉ばかりを集めて巣をつくっていた。約40年後の2003年に同じ池で採集したら、巣はビニール袋、ゴミ袋、ティッシュ、新聞紙片、捨てられた雑草などでつくられていた。池の横には2車線の舗装された道路が通り、隣接するように人家が建ち並んでいた。2つのカイツブリの巣には、40年の間に人間が自然環境に与えた影響を教えてくれる。

### 2. さまざまな巣箱のコーナー

ヒトは、スズメバチの巣など、ヒトにとって有害とされる生物の巣を駆除する一方で、特定の生

物を保全するために、繁殖場所として巣箱や人工的な巣場所をつくります。

巣箱というと、鳥を対象にしたものが知られていますが、利用するのは、樹木の空洞に巣をつくるシジュウカラやヤマガラ、フクロウなどに限られ、すべての鳥が巣箱を利用する訳ではありません。また、ムササビやリス、コウモリなど、樹木の空洞を利用するほ乳類を対象とした巣箱もあります。最近では、鳥やほ乳類の繁殖に適した樹木の空洞は少ないので、これらの巣箱は樹木の空洞を利用する生物にとって欠かせません。一方、生物の保全だけではなく、ミツバチの巣箱のように蜜を食料として利用するためにつくるものもあります。また、ミツバチ自体の活動を農作物の受粉のために利用することもあります。そのほか、動物園や水族館で使われている人工巣なども紹介します。なお、ここでは、世界最大のフクロウ「シマフクロウ」の巣箱の模型を設置しています(図2)。中にはいってその大きさを実感してください。



図2. 世界最大のフクロウ・シマフクロウの巣箱模型

### 3. 研究者による研究発表コーナー

ここでは、各分野の生物の研究者による、巣に関する研究成果を紹介しています。身近な鳥「メジロ」の巣を集めて分析することで見えてきたこと、カヤネズミの巣の研究からはじまる環境保全、巣材のなかでしか生息できない昆虫の発見、意外な場所で行われるカモメの巣作りなど、それぞれの研究者による「わかってきたこと」がつまっています。巣には研究テーマの宝庫です。夏休みの自由研究のヒントになるものもあります。

### 4. 自然資料館に持ってきてくれた巣

このコーナーでは、自然資料館が開館した1995年から現在までの間に、持ち込まれた生き物の巣を紹介しています(図3)。このなかには、ガレージにつくられたスズメの巣や、めんどくさがりのキジバトの巣など、いろいろなエピソードが詰まった資料を紹介しています。岸和田在住の方なら、採集された地名や巣をつくった状況に、親しみを感じるかもしれませんね。ここでは、巣を採集するときの注意事項を書いたパネルもありますので、ぜひしっかりとごらんください。



図3. みなさんから持ち込まれたメジロの巣

### おわりに

学校やその周辺にも、おそらくいろいろな生物の巣があると思います。使い終わった巣で、自然資料館に寄贈しても良いものがありましたら、お手数ですが、どうぞ捨てずにお持ちください。

博物館は珍しいものだけを収集しているわけではありません。いつ、どこで、どのような状態で採集されたかという情報も一緒に「採集」しているのです。

(かざまみほ きしわだ自然資料館)

## Information

### 自然資料館からのお知らせ

#### ●特別展「なるほど！巣・ワールド」

鳥をはじめとしたいろいろな生き物がつくる「巣」を多数展示します。ハチやドバトの巣のようにときに駆除の対象となるものがある一方、鳥やミツバチの巣箱のように、食料や生物の保全に利用するため人がわざわざつくるものもあり、巣と人との関わりは多彩です。今回は、こうした身近でみられるさまざまな巣とそれを取りまく学術的、文化的な話題を幅広く紹介します。

会期：2018年10月27日(土)～2019年1月14日(月・祝)

10：00～17：00 (入館は16時まで)

毎週月曜日(1月14日は開館)・12月25日・12月28日～1月3日 休館

場所：きしわだ自然資料館1階ホール(堺町6-5)

費用：おとな400円・中学生以下無料・JAFカード、浪切友の会・スルーウェイカードの提示で3割引

#### 会期中の関連行事

2019年1月6日(日)14：00～16：00

上達が実感できる！鳥のぬりえ教室

2019年1月13日(日)14：00～16：00

ハードセイバーをつくろう

2019年1月14日(月・祝)14：00～16：00

どんぐりでカイツブリとカイツブリの巣をつくろう  
(材料費100円)

#### ●きしわだ自然友の会 会員募集

きしわだ自然友の会は、自然資料館と協力し、独自の行事や出展、会誌などを通して自然を楽しく学んでいる団体です。

自然が好きで、生物や地学をもっと楽しみたい・学びたい人は、ぜひご入会ください。未就学児の方も参加できる行事も多数あります。

学校園の授業に活用できるプログラムもあります。

- ・対象：身近な自然に興味のある個人・家族
- ・期間：4月1日～翌年3月31日
- ・費用：個人会員年間2,000円(中学生以上の人が1人で入る場合)・家族会員3,000円(同居家族全員が対象)、特別会員年会費10,000円(友の会を援助してくださる人・団体)

#### 岸和田城の企画展

##### ●四季を彩る絵画展

岸和田市所蔵の絵画の中から「四季の美しさ」を表現した作品を集めた絵画展です。

会期：2018年12月19日(水)～2019年5月19日(日)

午前10時～午後5時(入場は午後4時まで)

休場日：12月29日～1月3日、平日の月曜日。展示入れ替えのため、12月18日(火曜日)は臨時休場

場 所：岸和田城天守閣(岸城町)

費 用：高校生以上300円・中学生以下無料

※お願い [fromM]は、学校教職員に1部ずつお配りください。

担当の方はお忙しいところ申し訳ありませんが、よろしくお願い申し上げます。

【from M】では、みなさまからのご意見、ご感想、ご質問等をお待ちしています。博物館での学習、研究等に関する情報、地域の自然環境や歴史に関する面白いトピックスなどがありましたら、ぜひご投稿ください。お名前、連絡先、所属等をご記入の上、右記の宛先までお送りください。電子メールでも受け付けています。

#### 連絡・問い合わせ先

〒596-0072 岸和田市堺町6-5 きしわだ自然資料館  
TEL: (072) 423-8100 FAX: (072) 423-8101  
Email: sizen@city.kishiwada.osaka.jp  
きしわだ自然資料館ホームページURL:  
<http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/>  
岸ぶら「きしわだ自然散歩ワニ目線」  
<http://kishibura.jp/blog/shizen/>